

宝寿院だより **菩 提 樹**  
第6号 ぼ だい じゅ

発行所  
〒496-0851  
津島市神明町 2  
電話 0567-25-4154  
真言宗智山派  
元神宮寺牛頭山  
千蔵坊 宝寿院

## 宝寿院歳時記

2月の寒波は庭の植物に多大の影響を与えましたのに、自然の復元力は4月の庭を、昨年よりも美しく彩っています。さくらは9日の日曜日が一番の見頃でしたが、つぼみがしっかりとしていた為か16日まで持ちそうです。お約束の記念樹の枝垂桜も植えたばかりで、立派に開花いたしました。昨年植えたままのムスカリや、水仙などの球根類は、雪のことなど関係なしと言いたげです。

すみれ・白たんぽぽ・チューリップ・ラッパ水仙などおなじみの花も咲き競い、春爛漫の庭をみせています。4月8・9日はお釈迦様の誕生日(降誕会)薬草の甘草を煎じて甘茶を作り、子供時代のお釈迦様を桜一杯の花見堂にきて頂き、甘茶で湯浴みをして頂きました。遠路お越しになった参詣の方から「とても甘くてお砂糖が入っていますか。」などと誉めて頂きました。今年の甘茶は特によく出きました。解脱会のA様からお供えして頂いた甘茶の葉の精製が優れていると思えました。ピンに入った甘茶をお持ち帰り用にだしていますが、好評で嬉しくおもいます。

いかりそう 錨草・えびね・ばいも・こうほね・ふう蘭・石楠花・馬酔木などの高山植物(500メートル)が一斉に開花しましたのでどうぞ観賞にお越しく下さい。古来花をめぐる人には悪人はいないと言います。平地の植物では、象花・花水木・三色咲き分けの椿の白赤ピンク等・してこぶしが、今年は気候が幸いして、鳥たちに食べられることも無く宝寿院の奥でひっそりと咲いています。

今年神社の銀杏の大木が剪定されてカラスはどこに巣をかけるのかと心配しましたが、昨日枝がすっかりなくなった木のまたに巣が出来ているのを、発見いたしました。カラスの子育ては、私どもの先生です。4月前から食どりが旺盛になり、ペアで小枝を口にくわえて営巣がはじまります。1ヶ月胞卵して孵ります。親鳥は巣へえさを運んで子供を大きくするのに必死になるのです。すばらしい子育てと共に、巣立ちの時を迎えますが、これは次号でお知らせいたしましょう。4月13日本日春の渡り鳥 瑠璃鳥(昨年秋と鳴き方の違う鳥)が9時頃ひとしきり鳴きました。神社の樹木が寂しくなってあまり長く居られなくなったようで、すぐに次の飛来地へと飛んでいきました。今年はツグミや目白をたくさん見ましたが、うぐいすの鳴き声が寂しかった様に思いました。鶴鳩の夫婦が節分すぎに雪の上で餌を捜していたのが、とても印象的でした。

## おしらせ

4月29日よりゴールデンウィーク中津島市主催の藤祭りが始まり、5月3・4・5日には商工会議所主催の町並みフェスタと共にスタンプ・ラリーがおこなわれます。

津島神社をはじめとして宝寿院など10の寺がふくまれて、織田信長の台所といわれる津島の町を紹介するイベントが開催されますので、奮ってご参加ください。記念品がでますよ。これはスゴイ。

ボランティア協力をお願いできる方募集しています。イベント中出来るだけでいいのです。天気の良い日はところてんやさんをやります。一度覗いて下さい。待っています。

6月15日には智積院で青葉まつりが開催されて、柴灯護摩が厳修されます。お参り下さい。15日から18日まで宝物拝観・呈茶・庭園観賞などが、併設されます。

スリランカへ車椅子1000台を送る目標の蘭花の会へ車椅子の郵政大臣八代英太議員から激励のお便りを頂戴いたしました。年会費3000円の振り込み番号も決まりましたので、お知らせいたします。

00860-3-128038 蘭花の会

用紙赤 宝寿院にあります。ご協力お願い申し上げます。

文責 蟹江宥宏(宝寿院)